

宮原八郎右衛門

宮原直伽

みやはら・はちろうえもん

みやはら・なおゆき

福山藩士

経歴

生:元禄15年(1702年)、宇都宮生まれ

没:安永5年(1776年)10月、享年75歳、一心寺に葬る

正徳元年(1711年)	9歳	阿部氏の移封に伴い福山へ来る
享保17年(1732年)秋	30歳	蝗害甚だしく封内検見役として領内各所を巡回
享保17年(1732年)秋～ 安永5年(1776年)	30～ 74歳	このころより病没直前まで『備陽六郡志』を執筆、福山藩の地誌の嚆矢
享保21年(1736年)	34歳	深津村原・神農廟の「炎帝廟頌並序」を草す
寛延3年(1750年)	48歳	普請奉行
宝暦10年(1760年)	58歳	京都在番
明和5年(1768年)	66歳	隠居

生い立ちと学業、業績

名は宮原直伽、通称八郎右衛門、号は何有。

賄方宮原與五右衛門直重の嫡子。

宇都宮生まれで、阿部氏の移封に従い福山に来た。

福山藩内の地誌『備陽六郡志』を著した。

出典1:『福山藩の文人誌 一付編弘道館と誠之館一』、49頁、濱本鶴賓著、葦陽文化研究会刊、1988年7月27日

出典2:『近世後期の福山藩の学問と文芸』、92頁、福山市立福山城博物館編刊、1996年4月6日

出典3:『新編「福山いしぶみ散歩」』、158頁、佐野恒男著、福山市文化財協会刊、1996年9月1日

2012年3月15日追加●2016年2月8日更新:レイアウト●